

■環境体験学習料金(プラン1~4)

各プランとも700円×人数

■環境体験学習クルーズ合計料金

megumiチャーター料金

環境体験学習料金

1講座700円×人数

※チャーター料金についてはお問い合わせください。

ご希望の港から乗船・下船が可能です。

沖島・竹生島にも上陸できます。

○進水年月 2008年1月18日

○寸 法 全長:33.61m、幅:8m

○総トン数 122トン

○最高速力 16ノット

○船 質 軽合金製トリマラン(三胴)型(日本初)

○主 機 関 立形水冷4サイクルディーゼルエンジン

※バイオディーゼル燃料対応機関

○最大出力 465kw

○旅客定員 200名(1階:120名、2階:80名)



環境学習船 megumi号

1 日本初の軽合金製
トリマラン(三胴)型船体で
高速化・低燃費化を実現!!



2 バイオディーゼル
混合燃料対応機関!!



3 太陽光パネルによる
発電システム導入!!



4 風力による
発電システム導入!!



○お問い合わせ・ご予約は(9:00~17:00)
琵琶湖汽船予約センター TEL.077-524-5000

KEIHAN
琵琶湖汽船

○大津港へは ○JR大津駅からバス約5分
(京阪バス・江若バス・近江鉄道バス)
○京阪・びわ湖浜大津駅下車徒歩約3分
○名神大津ICから車で約15分

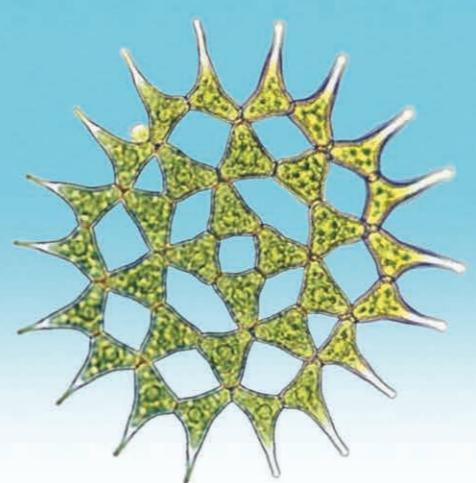
○ホームページでも
ご紹介しています。

びわこきせん
琵琶湖汽船で検索
www.biwakokisen.co.jp/

QRコード
情報は2019.7.20現在の情報です。

環境学習船 megumi号で
びわ湖の「水環境」「歴史・文化」「生き物」を学ぶ

びわ湖環境体験学習 ご案内



〈シップ・オブ・ザ・イヤー2008 受賞船〉

megumi
LAKE LIVING

「megumi」は、バイオディーゼル燃料対応機関、太陽光や風力による発電システムを導入し、二酸化炭素排出量の抑制に配慮した環境に優しい、日本初の軽合金製トリマラン(三胴)型クルーズ船です。母なる湖・びわ湖の恵みに感謝して事業活動を行うという当社の企業理念に基づいて名付けました。

ここまち つくろう
KEIHAN
琵琶湖汽船

日本一の湖「びわ湖」を通して、水環境、歴史・文化、生き物を学ぶ。

びわ湖は、面積約670km²、周囲約235km、深さは平均で約41m、最も深い所では約104mもあり、約275億m³もの貯水量で、京阪神の水がめとして1,400万人の暮らしと産業を支える「日本一の湖」です。また、400万年以上の歴史を持つ世界でも有数の古代湖でもあり、ホンモロコなど50種以上の固有動植物が生息する自然の聖地として「母なる湖」とも呼ばれています。周辺では現在、美しく豊かな自然に恵まれた、このかけがえのない湖を後世の人々に残すための様々な取り組みが続けられています。「megumi びわ湖環境体験学習」は、観察・実験を通して、水環境、歴史・文化、生き物等について体験しながら、みんなで考え楽しく学んでいただける学習クルーズです。



主に使用する環境学習器材



●生物顕微鏡



●CCDカメラモニター



●バンドーン採水器



●プランクトンネット



●透明度板



●放射温度計

PLAN 1 びわ湖の水を調べよう

(ねらい)

- ①びわ湖の水を採取し、自分自身の五感や器材を使って、水質を調べます。
- ②びわ湖について知り、水環境の保全にみんなで参画することが大切であることを学んでいただきます。

○所要時間：1プログラム 基本50分 ○場所：船上 ○定員：40～80名 ○季節：通年 ※天候等により内容を変更する場合があります。

PLAN 2 びわ湖と歴史

(ねらい)

- ①湖上から湖岸の景色を眺めながら、歴史・文化等の解説を聞いたり、湖上から湖岸の眺めをスケッチします。
- ②歴史環境継承のために、私達に何が出来るかを考えます。

学習進行内容

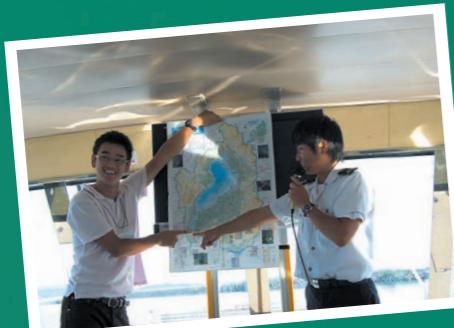
展開

導入



出港

→ (オリエンテーション
●びわ湖の簡単な説明
●班作りをする)



びわ湖の水を採取し、水質の状況を調べる。
水温、透明度、pH、CODを調べる。



湖上から湖岸を眺め、歴史についての説明を聞く。
びわ湖の景色をスケッチする。



プランクトンの採取。
プランクトンを肉眼や顕微鏡で観察し、
スケッチする。



まとめ



●習熟度チェック
●学習ノートを
完成させる

草津烏丸半島

草津市の最北、烏丸半島周辺には、びわ湖の原風景といわれるヨシ原が今もその姿をとどめています。

半島では、自然環境の保全をモチーフにした「水生植物公園みずの森」、「琵琶湖博物館」、「UNEP(国連環境計画)国際環境技術センター」があり、水環境の保全に関わるノウハウと情報を世界に向けて発信する拠点となっています。



水生植物公園「みずの森」
「植物と人、水と人のふれあい」をテーマにした
植物公園。様々な水生植物の生態を知ることができ、また様々な野鳥や水鳥を観察することができます。



〈交通のご案内〉○JR琵琶湖線「草津駅」下車 バスで約25分「琵琶湖博物館前」下車
○名神高速道路栗東ICから約25分
○大津港から草津烏丸半島港まで船舶利用で約30分

※上記のPLANから1つ選んで頂けます。※PLAN4につきましては、船上での講話のみになります。